

第79回読書週間(10/27~11/9) 標語「こころとあたまの、深呼吸。」

2年生は見学旅行、良き思い出となりましたでしょうか？道外と北海道との温度差で身体もびっくりしているのではないですか？

すっかり空気も冷たくなり、秋めいてきた10月。朝・晩かなり寒くなってきました。体調管理には十分気をつけたいですね。

10月27日から読書週間です。感受性が豊かな今こそ、本の世界にじっくりとふれ、豊かな人生を送ってほしいと思っています。ゆっくりと心落ち着けて読書をするには、最適な季節になりました。読書を通して新たに趣味や興味を見つけ、世界を広げてみませんか？

11月の新着予定本(全31冊)



アフターブルー/朝宮タ/講談社

納棺師、遺品整理士、生花装飾技能士、葬儀関係のプロ集団「株式会社C・F・C」。とりわけ損傷の激しい遺体を専門に扱う「二課」は、無残な状態から生前の面影を復元するのがミッション。納棺師たちはその手で、失われた生前のおもかげを復元していく。愛する人が突然この世を去った時、どうすれば立ち上げられるのか。遺された者はどう生きればいいのか。それぞれに「喪失」を抱えた納棺師たちもまた、明日を生きる微かな光を見出していく。



海は忘れない/村上しいこ/小学館

自転車事故をきっかけに、戦争の爪痕が色濃く残る昭和の世界にタイムスリップした高校2年生の遙瑠。晴子として暮らすうちに戦争の時代の現実を深く実感する。思い出もたくさん作り楽しく暮らしていたある日、事故により、また令和の時代に戻ることに。令和に戻った遙瑠は「未来に生きている自分ができることは何だろう」と戦争への認識を新たに、「伝える人」として歩みを進める。そして祖父に連れられていった読書会では大きなサプライズが。



他に

- ・天使と歌う/愛野史香/角川春樹事務所
- ・あの日の風を描く/愛野史香/角川春樹事務所
- ・じゃないほうの歌いかた/佐々木愛/文藝春秋
- ・#東京アパート/吉田篤弘/角川春樹事務所
- ・アラート/真山仁/新潮社
- ・そして少女は加速する/宮田珠己/幻冬舎
- ・うぐいす歌子の御ねこ日記/うぐいす歌子/玄光社
- ・満月が欠けている 不治の病・緑内障になって歌人が考えたこと/穂村弘/ライフサイエンス出版
- ・まる丸伊勢参り/畠中恵/KADOKAWA
- ・激しく煌めく短い命/綿矢りさ/文藝春秋
- ・ところで、愛ってなんですか？/鈴木晴香/左右社
- ・対話の思考法 相手とぶつからないコミュニケーション/山野弘樹/角川新書
- ・古事記の正体/関裕二/新潮新書
- ・独断と偏見/二宮和也/集英社新書
- ・お年よりと絵本をひらく/中村証子/福音館書店
- ・トホホな日本史人物伝 13歳からのしくじり学/渋谷申博/時事通信出版局
- ・心を軽くする練習/藤原東演/あさ出版 etc



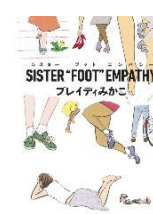
梧桐に眠る/澤田瞳子/潮出版社

時は天平の世(奈良時代)、天然痘が大流行した平城京を舞台に、戸籍のない浮浪児たちと、異国の地(中国の唐)からやってきた袁晋卿が出会う。それぞれに生きづらさを抱える彼らの人間模様、深まる新羅と日本の対立、唐から帰国した知識人たちの苦悩を描く。



島まみれ帳/ミロコマチコ/ブロンズ新社

はじめて空港に降りた瞬間の空気が、もう好きだった！奄美大島にとっぷりつかった濃厚な時間と、愛猫との暮らしをエッセイ・イラスト・写真で綴る。



SISTER“FOOT”EMPATHY/ブレイディみかこ/集英社

もっと自由になるためのシスターフット論。「他者の靴を履く足」を鍛えることこそ、自分自身の人生を歩む原動力となる！これからの世界とわたしたちを考えるためのエンパワメント・エッセイ。無駄に分断されず、共に地べたに足をつけてつながる。前に進む力が湧く39の視点。



なぜ人は穴があると覗いてしまうのか
人を“その気”にさせる仕掛け入門/
松村真宏/幻冬舎新書

ユーモアがあって、ついその気になってしまう仕掛けは、人を動かす万能な方法。「仕掛け」という世界初の学問分野を築き上げた著者が、街中で見つけた「これぞ」という仕掛け47種を楽しく解説。誰でも仕掛けのアイデアが見つかる6つのコツを伝授する。

9月末クラス別利用状況

クラス 学年	1組	2組	3組	4組	職員	計	総計
1年	0	0	0	0		0	24
2年	0	0	0	0		0	
3年	0	4	5	0		9	
職員					15	15	

